

人間歯科学研究会

～ 歯をまもる ～

Dr.Angel シリーズ歯ブラシは、毛の束がタタミほうきの様にへら状になっています。細い溝に毛が植わっているので「平穴植毛歯ブラシ」と呼ばれています。

これは、30年の歯ブラシと歯垢清掃の研究で、歯のみがき方がタテ、ヨコみがきが本能的であり、みがき方の指導を受けていてもタテ、ヨコみがきをしてしまうことから、このみがき方で最も効果の高い形態として採用されたものです。

平穴植毛の技術をいち早く取り入れた Dr.Angel シリーズ歯ブラシには「Cupid」「Jupiter」「Angel」「Fairy」の4サイズがあり、乳幼児から成人まで「自分に合った歯ブラシ」を選ぶことができ、お口の環境の改善とともに歯の健康をまもることができます。

Dr.Angel シリーズ歯ブラシは、握りこまずペンダグリップ（3本指で支えるよう）に持ちます。

歯の表面は、ハケで歯をなぞるようにヨコみがき（奥から前・前から奥）を行います。歯と歯の間はタテみがき（上から下・下から上）で食べかすや汚れを取り除きます。奥歯や歯の裏側はブラシのツマサキやカカトを上手に使ってみがきましょう。歯と歯肉の境目はブラシのへりを使って清掃します。いずれの場合も、力を入れないように意識しながら行います。

奥歯の咬合面の溝に、むし歯ができやすかったり、歯垢がとりにくい形をしているとき、歯の欠損があって歯と歯の間が広がったり、ブリッジが入っているときや人工歯冠の隣接部や歯肉縁部には、毛の束が大きく1つになっているワンタフトブラシ「One」を使って清掃してください。

矯正中や歯と歯の間の歯肉が肥大していたり、歯と歯の間が大きくて歯垢がとりにくい場合も「One」を使用します。

歯肉炎や歯周炎で出血や膿が出る時は、薬をつけてマッサージを行うように塗布すると効果的です。

歯周病という病名がついて、治療を要するときの歯ブラシの選択の目安は基本的な Dr.Angel シリーズ歯ブラシは従来通りに使用し、治療目的として歯周ポケットが3～7mmでは、二段植毛歯ブラシの「Clear 20MS」でポケット内を傷つけないように清掃し、歯周ポケットが7mm以上の重症歯周病では、ブラシの先端部に柔らかめの毛を円状に植毛した「Egg Round」を歯の1面ずつ、円を描くように丁寧に清掃します。

重症になるほど、歯ブラシの選択と使用方法は2種類から3種類へと増え、歯みがきの時間も長くなります。歯の寿命を延ばすために努力はつきものです。